

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 10/16 第18号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

## 学校祭

今年度から「合唱コンクール」「文化祭」「体育大会」と単独に開催していたものを学校祭（合唱の部・文化の部・体育の部）としてリニューアルして開催しました。学校祭のテーマは、「掴み取れ！～友情、感動、ほんの少しの勇気を添えて～」です。1週間で集中開催されますので準備が大変だったと思いますが、一人一人の生徒が役割をしっかりと果たしてくれて感動あふれる学校祭になりました。

（合唱の部）

10月8日（火）に京都外国語大学の森田記念講堂をお借りして開催しましたが、学校祭のスタートを飾るのにふさわしいすばらしい合唱の部になりました。開会のあいさつで3つのことをお願いしました。一つ目は、「緊張を楽しむ」ことです。合唱コンクールは一発勝負ですので緊張して当たり前です。緊張を楽しむくらいに心にゆとりをもって日頃の練習の成果を発揮してください。二つ目は、「自分を信じて、クラスメートを信じて、持てる力を発揮してほしい」ということです。三つ目は、「聴く側の鑑賞態度をしっかりと」ということです。観客席がざわつくと合唱が台無しになってしまいます。協力してください。3つのお願いとも立派に実行してくれました。さすが、双ヶ丘中の生徒です。



プログラムの最初は育成学級のトーンチャイムの演奏でした。題名は「フォーユー」。トーンチャイムのやさしい音色がホールを包んでホール全体が和んだ雰囲気になりました。その後、1年生の合唱、2年生の合唱、そして午後から3年生の合唱と続いていきました。1年生の合唱は、緊張したと思いますが、どのクラスも美しいハーモニーを響かせました。合唱の部の成功を予感させる合唱でした。2年生の合唱は、どのクラスもスケールの大きい、そして聴かせる合唱が続きました。

1年生の時と比べて長足の進歩を感じました。3年生の合唱は、メッセージ性のある曲が続きました。各クラスとも練習の成果を発揮して、各パートの歌声がすばらしいハーモニーを奏でました。レベルの高い合唱でした。各学年の合唱に対しても観客席から大きな拍手が送られました。結果は次の通りです。

- 1年生 最優秀賞 3組 「Song is my soul」  
優秀賞 1組 「翼を広げて」
- 2年生 甲乙つけがたく、最優秀賞が2クラスになりました。  
3・7組 「自分らしく」  
4・7組 「地球の詩」
- 3年生 最優秀賞 1組 「聞こえる」  
優秀賞 3組 「蒼鷺」  
4組 「走る川」



（文化の部）

学校祭2日目は文化の部です。10月9日（水）に本校で行いました。まずは、展示鑑賞です。教科やクラブ、総合的な学習の時間の作品など力作が揃いました。鑑賞をしている生徒は、興味深く鑑賞していました。また、体育館では3年生のポスターセッションも行われ、修学旅行についてテーマを設定し、仮説を立て、探究したことを熱心に発表していました。観客の生徒からは、さまざまな質問が出され活発なセッション（対話）が繰り広げられました。

（裏面につづく）

続いて、舞台発表に移りました。2年生の学年劇「未来の命」～生前 World 未来を切り拓け～、1年生の「双ヶ丘再発見そして発信」、3年生の「故郷」～沖縄の家族へ「ありがとう」～、吹奏楽部演奏、生徒会本部によるエンディングとプログラムは続きました。



2年生の学年劇は、キャストと照明、衣装、大道具などのスタッフが一体となり熱演が披露されました。考えさせられる内容で、終わったときは気持ちがゆらいだのを覚えています。1年生の発表は、双ヶ丘地域についてテーマを決めて探究活動をしている途中報告でしたが、今後の進展が楽しみです。また、最初のダンスも息が合っていてよかったです。3年生の発表は、合唱やエイサー-踊りで会場を盛り上げて

くれました。双ヶ丘と沖縄がどちらも「故郷」だと捉えて未来へつなげていきたいという主張には感心しました。吹奏楽部の演奏は、3年生にとっては最後の大きな舞台でした。3年生のあいさつやソロ演奏に大きな拍手が送られ、会場が一体となりました。エンディングの生徒会本部の発表は、ブラックライトを使っての演出など斬新な舞台でした。生徒会本部のチャレンジを大いに楽しませてもらいました。印象に残る舞台発表で、新しい歴史を刻んでくれました。



#### (体育の部)

学校祭の最後を飾ったのは体育の部でした。天候が心配されましたが、予定通りに10月11日(金)に実施できました。開会のあいさつでこの日も3つのお願いをしました。一つ目は、「最後まであきらめずに競技をしてほしい」ということです。あきらめずに最後まで競技をすることで見ている人に感動を与えられるはず。二つ目は、「水分補給をしっかりとって体調管理に努めてほしい」ということです。三つ目は、「色団に分かれて縦割りになっているので、自分の学年だけではなく他の学年の競技も応援してほしい」ということです。今年から色団対抗の競技が増えたので、他の学年の競技の応援にも熱が入り大いに盛り上がりました。私からのお願いを実行してくれてうれしかったです。縦割りで活動できる機会をこれからも増やしていけないかと考えています。



どの競技も最後まであきらめずに力をふりしぼってくれたことも見ていて気持ちよかったですし、これもお願いを実行してくれてうれしかったです。そして、何より生徒の皆さんの笑顔が素敵でした。

結果は、次の通りです。

1年 優勝 3組    2年 優勝 4・7組    3年 優勝 1組

色団優勝    桃団

応援合戦の様子



「友を信じて、マイナス思考ではなくプラス思考で、とことん最後まで走りきろう」